HIROSHIN REPORT 2026

上半期ミニディスクロージャー誌

2026.4.1 ▶▶▶ 2026.9.30

街のフレンドリーバンク
広島信用金庫

広島信用金庫と地域社会

当金庫は、広島県全域および山口県の一部を事業区域として、地元の中小企業・小規模事業者や住民の皆様が会員となってお互いに助け合い、ともに発展していくことを共通の理念とする相互扶助型の金融機関です。

常に、お客様とともに地域の成長を支えていける態勢づくりに取り組んでまいります。

お客様との強い絆とネットワークを形成

お客様からお預かりした大切なご預金・積金は、地元で資金を必要とされるお客様にご融資することで、事業や生活の繁栄をお手伝いするとともに、地域社会の一員として地元地域のお客様との強い絆とネットワークを形成し、地域の持続的発展に努めています。

また、金融機能の提供にとどまらず、企業としての社会的責任（CSR）を自覚し、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでいます。

お客様

お客様のご預金について

お客様にご満足いただけるよう、預金商品の開発やサービスの一層の充実に努めています。預金積金残高は1兆7千億円を超え、安定した残高を確保しています。

◎**預金積金残高**
1,735,886百万円
◎**会員数**
90,653人
◎**出資金**
3,392百万円

地域のお客様

お客様へのご融資について

お客様の幅広い資金ニーズにお応えするため、事業性のご融資や住宅ローンなどの個人向け各種ローンのほか、地域開発のために地方公共団体などで必要となる資金についても積極的にご融資を行っています。

お取引先への支援等について

当金庫は、企業育成・支援機能の充実をはかるため「お客様サポート部」、「経営支援室」を設置するなど、金融仲介機能の更なる発揮に向けた営業体制の構築に取り組んでいます。

◎**貸出金残高**
1,128,120百万円
預貸率 64.98%
◎**事業・経営等のご支援**



広島信用金庫

常勤役職員数：949人
店　舗　数：72店舗
業務純益：2,257百万円
当期純利益：1,205百万円
自己資本比率：13.28%

◎**有価証券残高**
393,631百万円
預証率 22.67%

ご融資以外の運用について

お客様からお預かりしたご預金等の一部を、有価証券で運用しています。運用にあたりましては安全性を第一とし、社債・国債等を中心に購入しています。

※信用金庫では中間決算を行っていないため、業務純益・当期純利益と自己資本比率は概算によるものです。

（注）計数は2026年9月末現在のものです。

地域社会への貢献、環境問題への取組み

文化事業

当金庫は、平成7年に設立した「ひろしん文化財団」が主催する「ひろしま平和能楽祭」「青少年のための能楽鑑賞教室」「日本画展」など、幅広い文化事業を通じて、地域の皆様の快適で文化的な生活環境づくりに取り組んでいます。



青少年のための能楽鑑賞教室



日本画展
(毎年4月と10月に八丁堀支店10階ひろしんギャラリーにて開催)

国際交流支援活動

当金庫が事務局を務める「広島シンガポール協会」は、学生交流を主体事業とした二国間交流団体です。シンガポール国立大学生を対象とした日本語研修留学生奨学金制度や交流会・講演会等を通じて、シンガポールと広島との国際交流に努めています。





シンガポール日本語研修留学生奨学金制度第20期生

地域スポーツ支援事業

各種スポーツ大会の開催・支援活動を通じて、地域の皆様の健康で快適な暮らしとコミュニケーションづくりをお手伝いしています。



広島市ママさんバレーボール大会



広島県西部少年野球大会



広島東洋カープのスポンサードゲーム

金融知識の普及

若い世代への金融経済教育を地域金融機関の役割ととらえ、小学生向け金融教室「ひろしんキッズマネースクール」の開催や、講師派遣、職場体験学習を実施しています。



環境問題への取組み

当金庫は、環境問題への取組みを企業の社会的責任（CSR）および公共的使命として位置付け、様々な取組みを行っています。

- ■OA用紙の使用量削減
- ■廃棄物の排出量削減
- ■電気の使用量削減
- ■グリーン購入の促進
- ■環境に配慮した金融商品・サービスの提供
- ■環境保護活動や美化活動の実施
- ■エコキャップ運動の継続

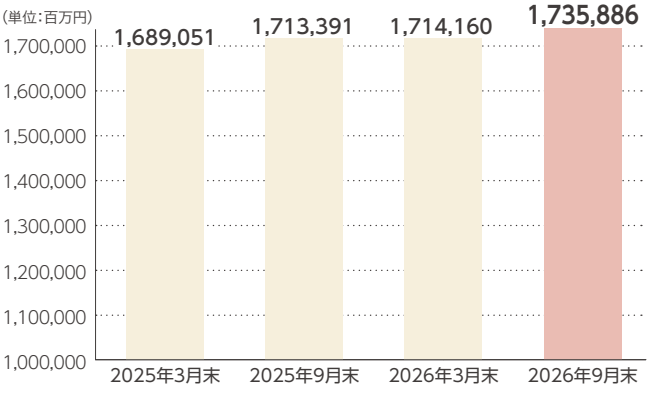


屋上緑化施設（有信廿日市ビル：廿日市中央支店）

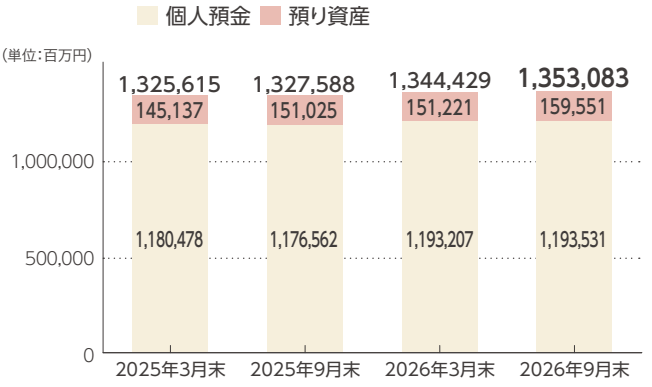
預貸金残高の推移（単体）

内容の充実を第一に地域に密着した営業活動を推進してまいりました結果、預金積金の2026年9月末残高は、1兆7,358億円となりました。また、個人預金・預り資産の2026年9月末残高は、1兆3,530億円となりました。

預金積金残高の推移



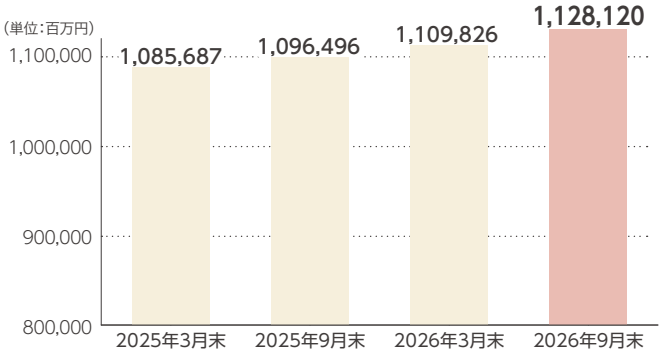
個人預金・預り資産残高の推移



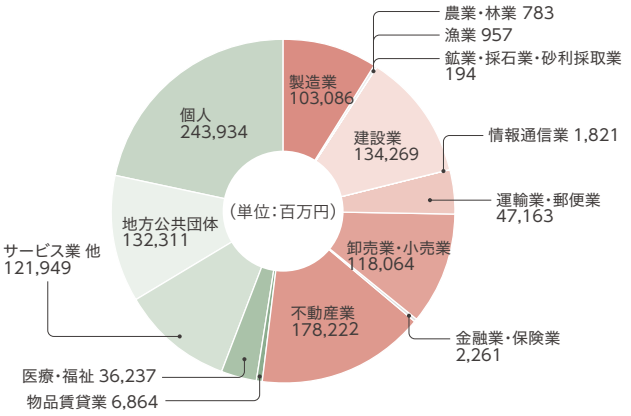
（注）預り資産は投資信託、公共債、保険の合計です。

地域経済の活性化のため、きめ細やかな融資対応に努めました結果、貸出金の2026年9月末残高は、前期末比182億円増加の1兆1,281億円となりました。

貸出金残高の推移



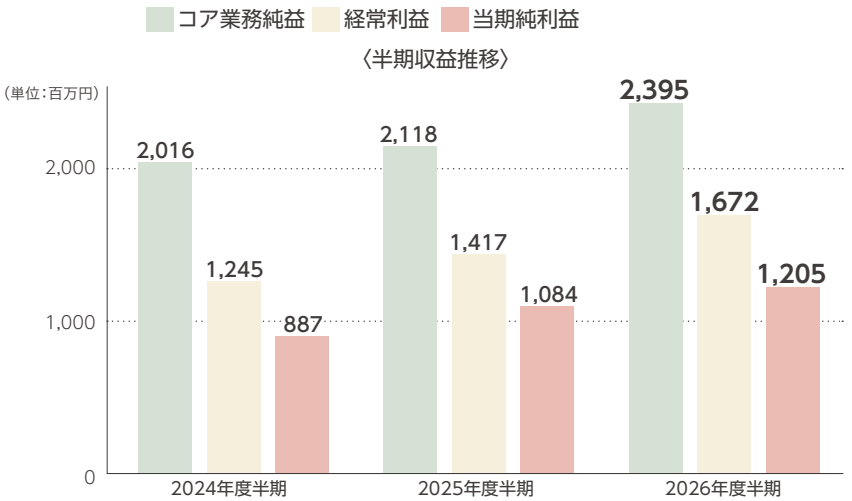
貸出金の業種別の内訳（2026年9月末）



収益の状況（単体）

金融機関本来の事業活動による利益を表すコア業務純益は23億円、当期純利益は12億円計上と安定した収益を確保しています。

収益の推移



（注）信用金庫では中間決算を行っていないため、半期の各利益は概算によるものです。

用語説明

コア業務純益

預金や貸出、為替など金融機関の業務から生まれる利益を表した業務純益に、一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券の損益を控除したもので、金融機関本来の事業活動による利益を表しています。

経常利益

業務純益に、業務外の損益の差を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示すものです。

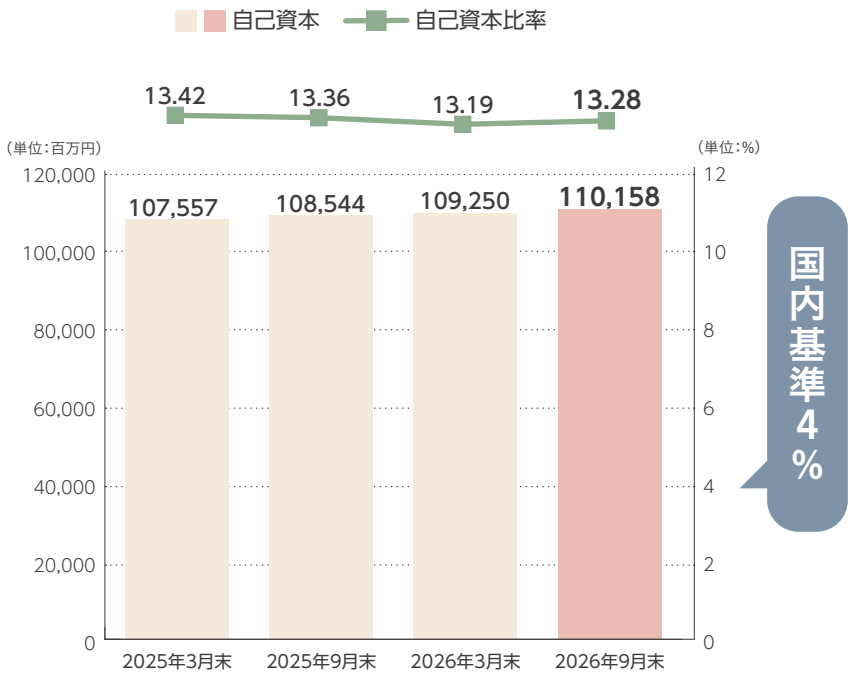
当期純利益

経常利益に、特別利益と特別損失の差を加減し、法人税等を控除した利益で、最終利益ともいいます。

自己資本の状況（単体）

金融機関の健全性を示す自己資本比率は13.28%と、国内基準の4%を大きく上回り、高い健全性を確保しています。当金庫は、今後も健全経営を堅持し、営業活動を通じて得られる利益による資本の積上げを中心に自己資本の充実に取り組んでまいります。

自己資本額と自己資本比率



POINT①

当金庫の「自己資本比率」は13.28%と、健全とされる国内基準4%を大きく上回っています。

POINT②

当金庫は、劣後ローン、優先出資の導入は行っておらず、利益からの蓄積である内部留保（無コスト資金）を中心に自己資本の増強をはかっており、自己資本の内容は充実しています。

2026年9月末自己資本比率 **13.28%**

（注）信用金庫では中間決算を行っていないため、9月末の自己資本比率は概算によるものです。

有価証券の時価情報（単体）

その他有価証券

（単位：百万円）

	2026年3月末			2026年9月末		
	取得原価（償却原価）(A)	時価(B)	評価差額 (B)－(A)	取得原価（償却原価）(A)	時価(B)	評価差額 (B)－(A)
その他有価証券	386,225	371,712	▲14,512	382,474	363,163	▲19,311
株式	1,926	4,807	2,881	1,926	5,254	3,328
債券	319,217	288,388	▲30,828	318,094	279,333	▲38,761
その他	65,081	78,516	13,435	62,453	78,575	16,122

満期保有目的の債券

（単位：百万円）

	2026年3月末			2026年9月末		
	帳簿価額(A)	時価(B)	評価差額 (B)－(A)	帳簿価額(A)	時価(B)	評価差額 (B)－(A)
満期保有目的の債券	29,868	23,086	▲6,782	29,873	21,765	▲8,108

（注） 1.「時価」は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.「その他」は、投資信託および外国証券等です。
3.市場価格のない株式等および組合出資金は本表には含めておりません。

不良債権への取組み状況（単体）

資産の健全性を確保するため、厳格な自己査定を実施し、積極的な不良債権処理を行っています。

信用金庫法開示債権および金融再生法開示債権の保全・引当状況

（単位：百万円）

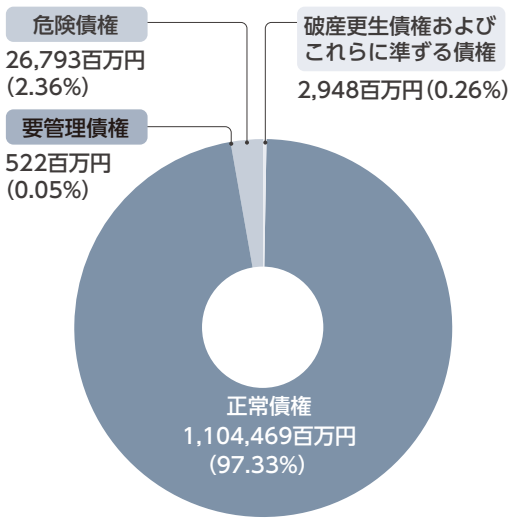
2026年9月末	開示額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額(D)＝(B)＋(C)	保全率 (D)／(A)	引当率 (C)／((A)－(B))
① 破産更生債権およびこれらに準ずる債権	2,948	920	2,028	2,948	100.00%	100.00%
② 危険債権	26,793	16,692	5,494	22,186	82.81%	54.40%
③ 要管理債権	522	308	48	357	68.46%	22.90%
三月以上延滞債権	13	13	－	13	100.00%	－
貸出条件緩和債権	508	294	48	343	67.60%	22.90%
④ 小計(①+②+③)	30,264	17,920	7,572	25,493	84.23%	61.35%
⑤ 正常債権	1,104,469					
⑥ 合計(④+⑤)	1,134,734					

不良債権に対する保全率は**84.23**%となっており、
当金庫の内部留保・収益力を考慮すれば、全く懸念ありません。

信用金庫法および金融再生法による開示債権の定義

	定　義
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	破産更生債権およびこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
危険債権	危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
要管理債権	要管理債権とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と、「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
三月以上延滞債権	三月以上延滞債権とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」および「危険債権」に該当しない貸出金です。
貸出条件緩和債権	貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
正常債権	正常債権とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「要管理債権」以外の債権です。

開示債権の構成割合



格付けについて

2026年10月、(株)日本格付研究所(JCR)から、長期発行体格付として、上位にランクされる格付け「A(シングルAフラット)」(格付け見通し「安定的」)を取得いたしました。

安定した内部留保の蓄積による自己資本の充実など、当金庫の経営の健全性や堅実性は、第三者機関からも高い評価を得ています。

AAA
AA
A　← 格付けA
BBB
BB
B
CCC
CC
C
LD
D

債務履行の確実性は高い

用語説明

格付け
格付け機関が投資家や預金者向けに、債券や預金が約定どおりに支払われる可能性、あるいは企業そのものの安全度・信用度を測定し、公正な立場からランク付けすることをいいます。

AAからBまでの格付け記号には同一等級内の相対的な位置を示す符号として、「＋(プラス)」、「符号なし(フラット)」、「－(マイナス)」の三段階があります。

ひろしんのお客様サポート体制

地元企業や地域の皆様の経営課題の解決と豊かな暮らしの実現をサポートさせていただくため、「お客様サポート部」が中心となり、各種事業サポートを行うとともに、各種コンサルティング業務や資金調達のお手伝いを行うなど、地域密着型金融の機能強化をめざして様々な取組みを行っています。

地域や企業の持続的発展に向けて、創業、新事業展開、事業承継支援に取り組んでいます。



創業・新事業創出支援

外部の専門家や行政と連携して、創業支援、新事業の創出支援に取り組んでいます。より確実な事業の立ち上げに向け事業計画の作成支援を行っています。

事業承継対策支援

企業経営者の高齢化が進む中、税理士法人など外部提携機関との幅広いネットワークを活用し、後継者問題に悩んでおられるお取引先への事業承継対策に関するご相談、M&Aのご提案に取り組んでいます。

企業の成長過程における多様な課題の解決支援に取り組んでいます。

公的支援制度認定支援

お取引先の新たな事業展開を後押しするため、新事業進出・ものづくり補助金などの各種公的支援制度の認定申請をサポートしています。

人材紹介支援

お取引先の人材不足にかかる課題解決に向け、提携先と連携した経営人材の採用支援やプロシェアリング・副業人材の活用を支援しています。

SDGs・カーボンニュートラルサポート

お取引先企業のSDGs・カーボンニュートラルへの取組状況を評価し、結果レポートを無償提供するとともに、個別のSDGsに関する取組みに向けた支援メニューの提供・コンサルティング支援を行っています。

各種コンサルティング・金融サポート

当金庫のネットワークを活かし、経営に関わる各種コンサルティング業務をはじめ、付加価値の高いサービスを提供するなど、お取引先企業に最適な解決策を共に考える伴走型支援に取り組んでいます。



- ■経営相談・財務診断
- ■多様な資金調達のご提案
- ■経営改善支援・事業再生支援
- ■相続・資産承継対策
- ■商圏調査・マーケティング
- ■ファイナンシャルプランニング
- ■法律相談・税務相談
- ■アグリビジネス支援

ひろしん創業支援センター「B-スクエア」



創業、新事業展開をめざす地元の皆様にオフィスを提供するとともに事業支援を行っています。

入居事業者9先
（2026年9月末）

ひろしん相談サロン



お客様のご相談を受ける場として本店2階に設置しています。外部の専門家もコーディネートしながらワンストップの課題解決をめざします。

HIROSHIN TOPICS

<ひろしん>は多彩な取組みを通して地域のお客様の暮らしを応援しています。

ひろしんアプリ リニューアル



令和8年6月、アプリバンキングサービス「ひろしんアプリ」のリニューアルを行いました。新たにアプリからの口座開設申込が可能となったほか、ローンの返済予定表照会機能を追加いたしました。

これからもお客様の利便性向上を第一に、さらなるサービスの充実に努めてまいります。

第2回 地元企業×大学生 商品企画アイデア5DAYSの開催

昨年度の開催に続き、令和8年8月、お取引先の販路拡大支援と地元大学生との接点機会強化を目的とした企画を開催しました。

参加した地元大学生が、お取引先の抱える商品やマーケティングの課題に対し、学生ならではの視点から解決策となるアイデアを提案しました。





ひろしん夏祭りの開催

令和8年8月、信金中央金庫「SCBふるさと応援団」の寄付を活用して整備した商店街みんなの広場マルマル（廿日市市）において、「ひろしん夏祭り」を開催しました。

お取引先による出店のほか、来場したお子様を対象としたキッズマネースクールや氷の中から宝をさがすイベントを行い、地域の方々と交流を深めました。





ひろしん ホームページアドレス https://www.hiroshin.co.jp/
発行/2026年11月　広島信用金庫　〒730-8707　広島市中区富士見町3-15　電話(082)245-0321